

【三重県名張市】

1. 事業の名称

地域資源の“竹”を活かした持続可能な地域ビジネスの創成プロジェクト

2. 事業の目的

今回のプロジェクトは、観光で賑わう赤目地域において、名張市の課題である放置竹林の“竹”を活かした持続可能な地域ビジネスを創成し、観光による地域経済の発展により、地域の高齢者の活躍できる環境を創出し、高齢者の社会参加、行きがい、健康増進、雇用、更には世代間交流による地域コミュニティの活性化に寄与することを目的に実施しました。

また、このプロジェクトにより、名張市で令和2年度から“竹”をテーマに「環境」「社会」「経済」の持続可能な循環を生み出していこうと取り組んでいる「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」を更に深化・発展させることにより、名張市全体で持続可能な循環型社会を形成し、地域や世代を超えた交流による名張の元気と新たな文化の創造を目指しました。

3. 実施方法

赤目まちづくり委員会を中心に、各種事業をその他関係団体と連携し実施しました。

4. 事業内容及び実施状況

- (1) 赤目地域の住民及び名張市民を対象とした「SDGs」を再認識するための研修会を実施
- (2) 赤目地域全体で「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」に取り組んでいることを名張市民及び観光客に周知し、あわせて名張市に“竹あかり”“竹”を定着させるため、赤目地域内に竹あかりを設置
- (3) 赤目溪谷ライトアップイベント「幽玄の竹あかり」と一体となったウエルカムイベントを開催
- (4) 名張市の新たな特産品として、赤目地域にある“竹”を材料に、竹細工や加工食品などの地域ブランド商品を企画・造成
- (5) 地域ブランド商品の企画・造成に必要な専門知識や技術の習得のための専門家を赤目地域に派遣
- (6) 名張市内でモデル地域となる「稼ぐ地域」と「地域循環型社会の構築」に必要なNPO法人等の立ち上げのための検討・準備を実施
- (7) コミュニティビジネスを発展させるために、コミュニティビジネスにおけるSNS活用方法等を習得するための研修会を開催

5. 事業の効果

- ・「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」の推進として、名張市、赤目まちづくり委員会、赤目竹あかりSDGsプロジェクト、赤目四十八滝門前界限の事業者等が連携し赤目地域内に竹あかりロードを創設しました。この事業により、赤目地域が一体となった観光客のおもてなし体制の構築や郷土愛の醸成が図ることができました。また、赤目四十八滝門前界限の事業者が中心となり開催した「竹あかりフェスティバル」になばり竹あかりSDGsプロジェクト実行委員会も参画し、当該事業及び「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」の情報発信を行うことで、イベントにお越しいただいた市民を中心に、本市の「竹」を活用したSDGsプロジェクトの魅力を伝えることができました。

- ・地域資源である“竹”を活かした新たな地域ブランドの創造として、赤目地域において「竹あかり」「竹細工」「加工食品（メンマ、スルメ）」などの開発及び試作を実施しました。この事業を通じて地域自らブランド商品を造成すること、「竹」というキーワードを通じて多数の地域住民が参画したこと等により地域が活性化されました。また、竹細工及び加工食品を造成及び販売するため新たな雇用を生み出す体制を構築する方向性が確立できたことや健康増進のために地域の取組に参画する機会の創出、更には市内高等学校もこの事業に参画したことで、世代間を超えた交流の場を創出することができました。

現在もこの事業をきっかけに、持続可能な地域ビジネスの創成に向けて、赤目地域の住民が自ら事業を継続されています。

6. 写真

サステイナブルな観光地づくり研修会



竹あかりフェスティバルでのワークショップ



SNS活用研修会



近鉄赤目口駅前に設置した竹あかり



竹細工を作成している様子



有償によるモニターツアーの受入

